

CLUSTERPRO

MC ProcessSaver 2.0 for Linux

リリースメモ

© 2015(Mar) NEC Corporation

- ☐ ライセンス
- ☐ パッケージのインストール
- ☐ セットアップ
- ☐ マニュアル
- ☐ 障害発生時の手順
- ☐ 補足事項・注意事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux（以後 ProcessSaver と記載します）の動作に必要な手順について説明します。

（1）商標および登録商標

- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ✓ Red Hat は、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ Oracle は、Oracle Corporation の登録商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ CLUSTERPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ ProcessSaver は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1	ライセンス	1
1.1	コードワードの取得	1
1.2	コードワードの登録	1
2	パッケージのインストール	2
2.1	動作環境	2
2.2	使用領域および必要容量	2
2.3	提供媒体	2
2.4	依存パッケージ	2
2.5	ソフトウェアパッケージのインストール	3
2.6	ソフトウェアパッケージのアンインストール	4
2.7	ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ	5
3	セットアップ	7
4	マニュアル	7
5	障害発生時の手順	8
6	補足事項・注意事項	8

1 ライセンス

1.1 コードワードの取得

本製品を導入する前に、あらかじめロック解除のためのコードワードを取得する必要があります。
製品添付の「コードワードについて」の手順に従って、コードワードを取得してください。

1.2 コードワードの登録

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」及び製品添付の「コードワード登録手順」の手順に従って本製品をインストールするマシンに、取得したコードワードを登録してください。

[手順の概要]

1. ライセンスツールのインストール

ライセンスツールをインストールします。

既にインストール済みの場合は本手順は不要です。

ライセンスツールは製品媒体の /Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。

2. コードワード登録ファイル(/etc/n2l2_lockinfo)の作成

コードワード登録ファイルを作成します。

既にファイルを作成済みの場合は本手順は不要です。

3. コードワードの登録

コードワード登録ファイルに取得したコードワードを登録します。

記述ミスなどが無い様に正確に記述してください。

4. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4438-402

license OK

「license OK」と表示されることを確認してください。

2 パッケージのインストール

2.1 動作環境

ProcessSaver は以下の OS での動作を保証しています。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

サポート対象ハードウェアは x86 および x86_64 搭載マシンです。

- Red Hat Enterprise Linux 5.0～5.11
- Red Hat Enterprise Linux 6.0～6.6
- Red Hat Enterprise Linux 7.0
- Oracle Linux 6.2～6.6
- Oracle Linux 7.0

2.2 使用領域および必要容量

ProcessSaver で使用する領域と必要ディスク容量、必要メモリ容量は以下のとおりです。

ご使用の前にお確かめください。

- ディスク容量

使用パーティション	必要容量
/opt	1MB 以上
/var	15MB 以上

※ 上記は pcheck プロセスを1つ起動した場合の使用量です。

pcheck プロセスを複数起動する場合は/var 配下が約 15MB × 起動 pcheck 数分必要となります。

- メモリ容量 : 15MB 以上

※ pcheck 1 プロセスあたり約 15MB を使用しますので、複数起動する場合は起動数分を算出してください。

2.3 提供媒体

ProcessSaver の媒体は、メディア用の型番で提供されますので、別途、購入が必要です。

以下の媒体からインストールしてください。

- CD-R (MDL143840101-1)

2.4 依存パッケージ

ProcessSaver の依存パッケージはありません。

2.5 ソフトウェアパッケージのインストール

1. ProcessSaver の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD)装置に挿入してください。

2. mount(8)コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD)装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /media
```

3. rpm(8)コマンドにより、ProcessSaver のパッケージをインストールします。
 - 32bit OS(x86) の場合

```
# rpm -ivh /media/Linux/rpm/clusterpro-mc-ps-w. x. y-z. i386.rpm
```

- 64bit OS(x86_64) の場合

```
# rpm -ivh /media/Linux/rpm/clusterpro-mc-ps-w. x. y-z. x86_64.rpm
```

(注) 上記 w.x.y-z にはバージョン番号が入ります。

4. rpm(8)コマンドにより、ProcessSaver が正しくインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-ps  
clusterpro-mc-ps-w. x. y-z. *****
```

(注) 上記 ***** 部分は OS のバージョンおよびインストールしたパッケージの名称に依存します。

5. マウントした媒体を umount(8)コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /media
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD)装置から取り出します。
以上で ProcessSaver のインストールは終了です。

2.6 ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. pcheck(1M) コマンドを起動している場合は、padmin(1M) コマンドにより pcheck(1M) コマンドをすべて終了してください。

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -f <pfile> -c shutdown
```

- * <pfile> には pcheck(1M) 起動時の pfile 名をフルパスで指定してください。

2. rpm(8)コマンドを使用してアンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-ps-w. x. y-z
```

2.7 ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ

旧リリースの ProcessSaver を本リリースに上書きしてインストールする場合の手順です。

1. マシンを立ち上げ、スーパーユーザー(ログイン名 root)でログインします。
2. pfile(デフォルトは /var/opt/HA/PS/conf/bin 配下)のバックアップを取得します。
3. pcheck(1M)コマンドを起動している場合は、padmin(1M)コマンドにより pcheck(1M)コマンドをすべて終了してください。

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -f <pfile> -c shutdown
```

* <pfile> には pcheck(1M)起動時の pfile 名をフルパスで指定してください。

4. ProcessSaver の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD)装置に挿入してください。
5. mount(8)コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD)装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /media
```

6. rpm(8)コマンドにより、ProcessSaver のパッケージを上書きインストールします。
 - 32bit OS(x86)の場合

```
# rpm -Uvh /media/Linux/rpm/clusterpro-mc-ps-w.x.y-z.i386.rpm
```

● 64bit OS(x86_64)の場合

```
# rpm -Uvh /media/Linux/rpm/clusterpro-mc-ps-w.x.y-z.x86_64.rpm
```

7. rpm(8)コマンドにより、ProcessSaver が正しく上書きインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-ps  
clusterpro-mc-ps-w.x.y-z.*****
```

(注)シリーズで機能強化があるとバージョン番号 w.x.x-y の w,x,y,z が更新されます。

*****部分は OS のバージョンおよびインストールしたパッケージの名称に依存します。

8. マウントした媒体を `umount(8)` コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /media
```

9. 媒体を CD-ROM(DVD)装置から取り出します。
10. バックアップした `pfile` を元の場所に戻します。
11. `pcheck(1M)` コマンドを起動します。

以上で ProcessSaver のリビジョンアップは終了です。

3 セットアップ

ProcessSaverを使用するためには、pfile 作成・セットアップ作業を行う必要があります。これらの手順については、媒体添付の「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux ユーザーズガイド」をご覧ください。

4 マニュアル

ProcessSaver のマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux ユーザーズガイド	/Linux/manual/Linux_PS_readme.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux syslog メッセージ一覧	/Linux/manual/Linux_PS_syslog.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux はじめての ProcessSaver	/Linux/manual/Linux_PS_tutorial.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux 構築ガイド	/Linux/manual/Linux_PS_clusterpro.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux FAQ 集	/Linux/manual/Linux_PS_faq.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux 導入ガイド	/Linux/manual/Linux_PS_guide.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux テンプレートガイド	/Linux/manual/Linux_PS_template.pdf
CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux クイックリファレンス	/Linux/manual/Linux_PS_reference.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からアクセスできます。PDFファイルを参照できるソフトウェアを使ってマニュアルをご覧ください。

5 障害発生時の手順

ProcessSaver 運用中に何らかの障害が発生した場合は、下記の手順に従って情報採取を行った後、サポートへ問い合わせをお願いします。

- (1) OS、ProcessSaver のバージョン情報(rpm 相当)を採取します。

```
# cat /etc/*-release > os-release.txt
```

```
# rpm -qai > rpm.txt
```

- (2) 事象発生時の syslog (以下のファイル)を採取します。

・/var/log/messages

- (3) ProcessSaver の構成ファイル(pfile、再起動スクリプト等すべて)を採取します。

- (4) ProcessSaver 起動時の rc ファイルまたは業務スクリプト等を採取します。

- (5) 以下のコマンドの実行結果を採取します。

```
# ps -ef > ps_ef.txt
```

```
# ps -efl > ps_efl.txt
```

```
# ipcs > ipcs.txt
```

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -l > padmin_l.txt
```

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -f <pfile 名> -c show pent > padmin_show_pent.txt
```

- (6) ProcessSaver の共有メモリトレースファイル(以下のファイル)を採取します。

・pfile の SHM_DUMP_FILE に指定されたファイルおよびそのバックアップファイルすべて

- (7) 障害発生時の操作ログがあれば採取します。

6 補足事項・注意事項

- ・本リリースでの補足事項・注意事項については、「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.0 for Linux ユーザーズガイド」をご覧ください。

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.0 for Linux
リリースメモ

2015 年 3 月 第 1 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2015

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙